新庄小

センス・オブ・ワンダー（感じる心）の樹の紹介（～１月）

～　美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目をみはる感性を育むために　～

美しものを美しいと感じる感覚、新しいものや未知なるものに触れたときの感覚、思いやり、憐れみ、賛嘆や愛情などの様々な形の感情がひとたびよびさまされると次にその対象についてもっと知りたいと思うようになります。そのようにして見つけ出した知識はしっかりと身につきます。

レイチェル・カーソン「センスオブワンダー」より

箱根駅伝を見た。最後まであきらめないで走っている姿に感動した。
（４年男子）

本を夢中になって読んだ後は、怒りの気持ちや不安だったことを忘れて穏やかになるのが不思議だ。これからも色々な本を読んでいきたい。（６年女子）

手のひらに降ってきた雪を見ていたら、雪の結晶が何個もまとまっていた。とてもきれいだった。
（４年男子）

家の戸が開けづらくなったのは、屋根に積もっている雪のせいだそうだ。雪の重さのすごさにおどろいた。
（５年女子）

早起きして雪かきをした。朝ごはんを食べると、いつもよりおいしく感じた。働いた後においしく感じるのはなぜかな。不思議だ。
（４年女子）

おばちゃんが長い時間をかけて作ってくれたおせちはとてもおいしかった。おせちにはいろいろな思いや意味があることがわかった。
（６年女子）

スノーボードをしていたら、スピードにのった外国の方が「ワーオ。」などと言っていた。言葉はちがっても感じることは同じだと思った。
（６年男子）

バネをはじくと音が出る。バネの長さやはじく物によって、ソの音がでなかったり、ラの音がでなかったり・・・。おもしろい。
（５年男子）

新庄市立新庄小学校
The sense of wonder だより
第８号　Ｈ３１.１.１５